

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030F6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	昔 宣希 / Suk Sunhee		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	昔 宣希 / Suk Sunhee		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	昔 宣希 / Suk Sunhee		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suksunhee[@]nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環407		
担当教員TEL/Tel	095-819-2866		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに,知的活動への動機づけ,論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には,新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し,受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ,人文社会科学的または自然科学的な思考方法,グループワークの進め方,実験・調査の計画法,文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また,カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により,本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>◎ 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) A 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) B ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点)+中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部での教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030F7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ytomozawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環439		
担当教員TEL / Tel	095-819-2784		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜9:30-10:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	<p>人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力</p>		
教科書・教材・参考書 / Materials	<p>授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	ようこそ、環境科学部へ！みなさんとお会いできるのを楽しみにしています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030F8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山本 裕基 / Yamamoto Yuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山本 裕基 / Yamamoto Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山本 裕基 / Yamamoto Yuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-yamamoto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環451		
担当教員TEL/Tel	095-819-2724		
担当教員オフィスアワー/Office hours	必要に応じて対応する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部での教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030F9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	y-shigetomi "at" nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	452		
担当教員TEL / Tel	095-819-2785		
担当教員オフィスアワー / Office hours	上記のメールアドレスに連絡をいただければ、調整します		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) A 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) B ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ul style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	大学と高校までの違いを知りつつ、これから自由に学び、遊び、成長していきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030G1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	片山 健介 / Kensuke Katayama		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	片山 健介 / Kensuke Katayama		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	片山 健介 / Kensuke Katayama		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kenkata nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部棟・4階・環424		
担当教員TEL / Tel	095-819-2737		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日13:30-14:30(事前に電子メールで問い合わせること)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2. 他者と協調・協働して問題解決にあたることことができる。(環境科学部DP-5) 3. ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード / Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	授業内容は、新型コロナウイルス感染症拡大状況により変更になる場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	大学では、答えのない問いに対して主体的に、根気強く取り組むことが求められます。日頃からニュースや新聞に触れて興味関心を深め、多様な視点があることを理解してください。そして自分で考え、それを表現できる能力を身に付けてください。初年次セミナーがそのきっかけになることを願っています。がんばりましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030G2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部・1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-hamasaki@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @ を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 4階 449室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2742(研究室直通)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週金曜 16:00-17:00 会議等で不在の場合もあります		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>◎ 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) A 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) B ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介，本講義のねらい・成績評価方法の説明，メールを送る際のマナー，LACSの使い方，大学生活を有意義かつ充実して過ごすために
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介，4年間の卒業までの流れ，自分自身の興味・関心と研究分野とのマッチングを考える（自己分析）
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング，グループワーク，ポートフォリオ）
第5回	グループ分け，取り組むテーマについてのディスカッション
第6回	テーマの決定，グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル，レポートルール，プレゼンテーションスキル）
第10回	ライティング実践（1） グループワーク（2）
第11回	ライティング実践（2） グループワーク（3）
第12回	ライティング実践（3） グループ・プレゼンテーションのリハーサル
第13回	【7/12（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答），レポートの提出，まとめ（講評・総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030G3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	服部 充 / Hattori Mitsuru		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mhattori nagasaki-u.ac.jp (を@に変えてください)		
担当教員研究室 / Office	環440		
担当教員TEL / Tel	095-819-2759		
担当教員オフィスアワー / Office hours	前もって連絡いただければ基本対応します。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点 + レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード / Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学に入学したばかりでわからないことや不安なことも多いかと思います。この初年次セミナーでそれらを払しょくし、大学生活を充実したものにしましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部の教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030G4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西山 雅也 / Nishiyama Masaya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西山 雅也 / Nishiyama Masaya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西山 雅也 / Nishiyama Masaya		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生、オリエンテーションの際に指定されたクラスの者		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-248ma nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環311-2		
担当教員TEL/Tel	2749		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後。これ以外も可能な場合は対応。事前の連絡が望ましい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) ・他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) ・ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	いよいよ大学生だ、主体的な学びを始めよう！
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030G5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 真弘 / Masahiro Yamaguchi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masah-ya nagasaki-u.c.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部3階「309-3 山口真弘 教員室」		
担当教員TEL / Tel	095-819-2744		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間後およびメール等による事前連絡があれば随時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2. 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) 3. ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード / Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部での教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030G6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	利部 慎 / Kagabu Makoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	利部 慎 / Kagabu Makoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	利部 慎 / Kagabu Makoto		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kagabu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 #245		
担当教員TEL/Tel	095-819-2771		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時ならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文社会科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>A: 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) B: 他者と協調・協働して問題解決にあたることことができる。(環境科学部DP-5) C: ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2)</p>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	<p>事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)</p>		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等 PCを持参すること
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介（研究室訪問ツアー）、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	取り組むテーマの立案 『環境科学部の先生方について調べよう』
第6回	取り組むテーマの立案 『探究するテーマを設定しよう』
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	最終報告会の最終準備
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030G7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高巢 裕之 / Takasu Hiroyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高巢 裕之 / Takasu Hiroyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高巢 裕之 / Takasu Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科1年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takasu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部3階「環332-1 高巢裕之 教員室」		
担当教員TEL / Tel	095-819-2752		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後(これ以外にも、メール等による事前連絡があれば、随時対応します)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的な思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2. 他者と協調・協働して問題解決にあたることことができる。(環境科学部DP-5) 3. ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどの基本的学習技能を身につけ、効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集、資料作成、情報共有、問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく、情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード / Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部での教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030G8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	富塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	富塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	富塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tommy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境3F 環327		
担当教員TEL/Tel	095-819-2767		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに,知的活動への動機づけ,論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には,新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し,受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ,人文社会科学的または自然科学的な思考方法,グループワークの進め方,実験・調査の計画法,文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また,カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により,本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) 2. 他者と協調・協働して問題解決にあたることことができる。(環境科学部DP-5) 3. ディスカッション,プレゼンテーション,レポートなどの基本的学習技能を身につけ,効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回) = 40点 + レポート(30点×1回) = 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集,資料作成,情報共有,問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく,情報・資料の質の吟味 + 演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード/Keywords	人文社会科学的・自然科学的思考方法,学習・実験・調査の計画能力,コミュニケーション能力,自己表現能力		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部での教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202105810030G9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(環境) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 典之 / Yamaguchi Noriyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 典之 / Yamaguchi Noriyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 典之 / Yamaguchi Noriyuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	環境科学部一年生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noriyuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	動物生態学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2751		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時(メールなどによるアポをとってください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>新入生を環境科学へいざなうとともに, 知的活動への動機づけ, 論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には, 新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し, 受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ, 人文科学的または自然科学的な思考方法, グループワークの進め方, 実験・調査の計画法, 文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また, カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により, 本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> ① 論理的・批判的に物事を考えることができる。(環境科学部DP-2) A 他者と協調・協働して問題解決にあたることができる。(環境科学部DP-5) B ディスカッション, プレゼンテーション, レポートなどの基本的学習技能を身につけ, 効果的な自己表現ができるようになる。(環境科学部DP-2) 		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取組み・グループでの討議およびディスカッションへの積極的な参加(2点×15回=30点) + 中間報告会および最終報告会におけるプレゼンテーション・質疑応答(20点×2回)=40点+レポート(30点×1回)=合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: グループワークとしての情報収集, 資料作成, 情報共有, 問題点提起のための思考(1h) 事後学習: グループワークおよび中間・最終報告会での議論に基づく, 情報・資料の質の吟味+演習での教授事項の振り返り(復習)(1h)		
キーワード / Keywords	人文科学的・自然科学的思考方法, 学習・実験・調査の計画能力, コミュニケーション能力, 自己表現能力		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があれば随時指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp （担当教員各位：追記がある場合は上記を残し、この下にご記入下さい）
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	大学生活に馴れ、仲間を作ることの一助になることがこのセミナーの目標です。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：担当教員と受講生の自己紹介、本講義のねらい・成績評価方法の説明等
第2回	環境科学入門：担当教員による学部教育研究活動の紹介、専門教育科目の履修ガイダンスなど
第3回	国際交流委員会による留学案内（予定）
第4回	大教センター教員によるオンデマンド演習-1（アクティブラーニング、グループワーク、ポートフォリオ）
第5回	グループ分け、取り組むテーマの選択あるいは立案
第6回	テーマの決定、グループワーク（0）の開始
第7回	図書館資料収集ガイダンス（予定）
第8回	グループワーク（1）
第9回	大教センター教員によるオンデマンド演習-2（ライティングスキル、レポートルール、プレゼンテーションスキル）
第10回	グループワーク（2）
第11回	中間報告
第12回	グループワーク（3）
第13回	【7/12（月）5校時】 就職委員会によるキャリア教育
第14回	グループワーク（4）
第15回	最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出、まとめ（講評、総括）